



2019年
11月16日 **土**

12時30分開演 12時開場 (午後4時終演予定)

参加無料 (要申込) **定員 200名** (全席自由・要申込)

会場 | 京都市立芸術大学 講堂
(京都市西京区大枝沓掛町13-6)



・京阪京都交通バス「芸大前」下車、徒歩すぐ
・本学には駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。



<https://rcjtm.kcua.ac.jp/>

詳細は伝音センター
ホームページから！

お申込はE-mail・FAX・ハガキで承ります。
(裏面の「申込方法」をご参照ください)

語り立体化 そして復曲 ―狂言、能、題目立―

京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター 第55回 (令和元年度第1回) 公開講座
一般社団法人東洋音楽学会 令和元年度公開講演会



語りの立体化そして復曲 — 狂言、能、題目立 —

源平盛衰記に描かれる《石橋山の合戦》。これは、源頼朝による平家に対する旗揚げの合戦です。この合戦の物語のハイライトは、源氏側の真田与一義貞と平家側の侯野景久の一騎打ちです。現行の狂言《文蔵》では、この物語のハイライト部分が、主人によって語られます。狂言で語られる同じ場面を描く能に《真田》があります。現行のレパートリーではありませんでしたが、二〇一四年に能として復元されました。また、奈良の東山中に伝えられる民俗芸能の題目立《石橋山》の詞章が残されており、本年、保存会による復活がおこなわれます。今回は、同じ石橋山の戦いを扱う三つの演目をならべて鑑賞し、語り物の立体化とは何か、そして復曲（復元、復活）とは何かについて、考えるきっかけを提供できればと思います。ふるってご参加ください。

演目

狂言《文蔵》（大蔵流）

出演／茂山千三郎 能楽師（狂言方大蔵流）

松本 薫 能楽師（狂言方大蔵流）

復曲能《真田》（観世流）

出演／加藤 眞悟 能楽師（シテ方観世流）

安田 登 能楽師（ワキ方下掛宝生流）

河村 晴久 能楽師（シテ方観世流）

地謡 河村 和貴 能楽師（シテ方観世流）

河村 和晃 能楽師（シテ方観世流）

題目立《石橋山》

出演／題目立保存会（奈良県奈良市上深川町）

解説 長田 あかね 神戸女子大学古典芸能研究センター非常勤研究員

丹羽 幸江 京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター客員研究員

沖本 幸子 青山学院大学総合文化政策学部教授

司会・企画 藤田 隆則 京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター教授



狂言 ©茂山千三郎



能《真田》 ©前島吉裕



「題目立」の模様

申込方法

はがき・FAX・Eメールのいずれかの方法により、
 ① 郵便番号 ② 住所 ③ 氏名 ④ 電話番号（FAX番号）
 ⑤ “第55回公開講座「語りの立体化そして復曲」”
 参加希望”と明記の上、お申込みください。

※ 定員を超過した場合は抽選となります。
 ※ 定員に余裕がある場合は、当日も受け付けます。

受付期間 令和元年10月11日（金）～11月13日（水）〈必着〉

申込・問合せ先 〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町13-6
 京都市立芸術大学 事務局連携推進課 事業推進担当

Fax 075-334-2281

Eメール public@kcuu.ac.jp

Tel 075-334-2204（平日8:30～17:15）
 ※ 電話での申込受付は承っておりません

次回予告

日本伝統音楽研究センター 令和元年度第2回公開講座

2020年 常磐津家元所蔵浄瑠璃本による
2.9日 復元的上演とその課題（仮題）
 14時～16時30分（予定）

事前申込制 詳細は別途チラシ・大学HP等でご確認ください。

会場 | 京都市立芸術大学新研究棟7階合同研究室1

内容 | 報告：竹内有一（日本伝統音楽研究センター教授）、常岡亮、小西志保、宇野茂男（美術学部教授）

演奏：常磐津小文字太夫、岸澤式松 ほか